

令和7年度 栄小学校 家庭学習の手引き（宿題編）

★学校で学習したことの定着や基礎学力の向上を図るためには、学校と家庭との連携が重要です★

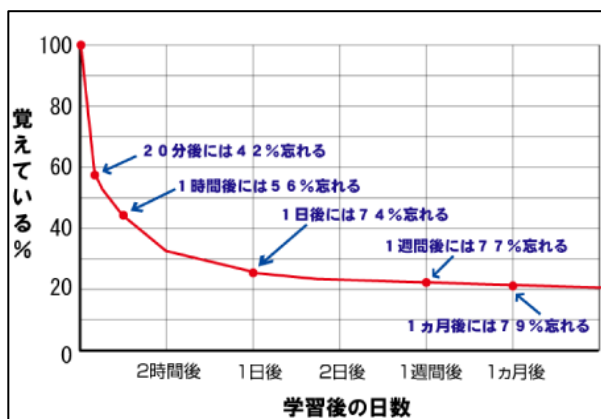
学校で学習したことを、家庭で復習（宿題・自主学習など）することで、学習内容の定着へとつながり、子どもたち一人ひとりが「できる」という自信をもつことができるようになります。

さて、栄小では、「家庭での学習習慣を確立するため」に、まずは宿題をきちんとやることが大切であると考えています。毎日きちんと宿題をし、家で机に向かうことが当たり前になるようにしていきたいです。家庭学習には以下のような重要性があると言われています。

家庭学習の重要性

1. 学習内容の定着:

- エビングハウスの忘却曲線(資料1)によると、人は24時間後には学習内容の74%を忘れてしまいます。しかし、復習をすることで記憶の定着率は大幅に向上します。
- 例えば、授業で学んだことをその日のうちに15分復習するだけでも、記憶の定着率が80%以上に向上するという研究結果(資料2)があります。



資料1 【エビングハウスの忘却曲線】



資料2 【エビングハウスの忘却曲線と復習の関係】

2. 学習習慣の確立:

- 毎日決まった時間に学習することで、脳の実行機能が発達し、集中力や自己管理能力が向上します。
- ある研究では、毎日30分の家庭学習を続けた児童は、そうでない児童に比べて、集中力が1.5倍向上したという結果が出ています。

3. 学力向上:

- 家庭学習の時間を確保することで、学力テストや受験において、より良い結果を期待できます。
- 文部科学省の調査によると、家庭学習時間が1日1時間以上の児童は、30分未満の児童に比べて、学力テストの平均点が約20点高いという結果が出ています。

4. 自己肯定感の向上:

- 家庭学習を通じて、子どもたちは「やればできる」という成功体験を積み重ね、自己肯定感を高めることができます。
- ある調査では、家庭学習に積極的に取り組む児童は、そうでない児童に比べて、自己肯定感が1.3倍高いという結果が出ています。

5. 探求心の育成:

- 家庭学習は、子どもたちが興味のある分野を自ら探求する絶好の機会です。
- 例えば、図鑑や興味のある分野の本(学習漫画も含む)を読むだけでも、知的好奇心を刺激し、主体的な学びを促します。

つきましては、今年度も「家庭学習の手引き（宿題編）」として、各学年の宿題のやり方を示しました。ご家庭でも目を通していただき、以下のような声かけや励ましのサポートをいただきますようお願いいたします。

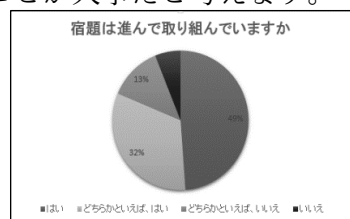
ご家庭でできる具体的なサポート

- **学習環境を整える:**
 - 静かで明るい学習スペースを用意し、整理整頓された状態を保ちましょう。
 - タイマーや時計を用意し、時間を意識した学習を促しましょう。
 - 家庭学習時間のめやすは、**低学年:20分 中学年:40分 高学年:60分**です。
 - スマートフォンやゲーム機など、学習の妨げになるものは遠ざけましょう。
- **学習計画を立てる:**
 - お子さんと一緒に1週間の簡単な学習計画を立て、時間割を作成しましょう。
 - 計画を実行できた日は、カレンダーにシールを貼るなどして、視覚的にお子さんが達成感を味わえるようにしましょう。
- **励ましとサポート:**
 - 結果や点数ではなく、お子さんの努力の過程を具体的に褒め、励ますことで、学習意欲を高めます。
 - 分からない問題は、すぐに答えを教えるのではなく、ヒントを与えたり、一緒に考えたりすることで、思考力を養いましょう。
 - 宿題が終わった後も、簡単に見直しや振り返りをさせて、お子さんが分からないところを自身で調べたり、翌日先生に質問したりできるようにしましょう。
- **学びの共有:**
 - 夕食時や団らん時に、今日学んだことを発表する時間を作り、親子のコミュニケーションを深めましょう。学校でどんな学習をしたかを5分程度話させるだけでも、記憶の定着につながります。
 - 週末は、図書館や博物館など、学びにつながる場所へ一緒に出かけましょう。

○本校の調査でも、宿題に進んで取り組んでいる児童が多いことがわかりました。しかし、取り組んでいる学習時間にはバラつきがあり、各学年の実態に合った学習をすることが大事だと考えます。

- ・**低学年** … まずは**宿題を正確に**ていねいに。
家庭での学習を習慣にすることが目標。
- ・**中・高学年** … 宿題を素早く丁寧に行えるようになった児童は、
苦手を補ったり、得意を伸ばしたりするために、
自主学習にも取り組めるとよい。

○**中学生**になると、定期テストの学習など、自ら計画し、学習する力がより求められます。特に6年生は、来年度に向けて今から自主的に学習する習慣をつけていけるとよいでしょう。



☆決められた宿題が早く終わったら、以下のものなどにも取り組めると、より学習内容の定着が高まります。

【低学年】

国語	・音読 ・ひらがな、カタカナ、漢字の練習 ・教科書の書き写し ・言葉集め ・文作り ・日記 ・読書 など
算数	・計算カード ・教科書問題の練習 ・ドリルの繰り返し ・テストの解き直し など

【中学年】

国語	・音読 ・漢字練習 ・教科書の書き写し ・詩やことわざの暗唱 ・辞典を使った意味調べ ・日記 など
算数	・教科書問題の練習 ・ドリルの繰り返し ・図形を描く ・テストの解き直し ・線分図を使った文章題など
理科	・植物、虫などの観察 ・月、星の観察 など
社会	・さいたま市に関係すること調べ（施設や名所など） ・都道府県の暗記 など

【高学年】

国語	・音読 ・漢字 ・教科書の視写 ・詩や俳句の暗唱 ・辞典を使った意味調べ ・日記 ・読書感想文 ・意見文などの作文 ・ことわざ、慣用句調べ など
算数	・教科書問題の練習 ・ドリルの繰り返し ・自作問題 ・テストの解き直し ・数直線を使った文章題 など
理科	・昆虫や植物調べ ・惑星調べ ・人や動物の体のしくみ ・授業の復習 など
社会	・歴史上の人物や出来事調べ ・全国の特産物調べ ・世界の国（遺産、川、山脈など）調べ など
GS	・プレゼンテーション練習 ・英単語調べ ・英文づくり など

※学校で取り組んでいるWebドリル「ドリルパーク」も栄小のサイトからアクセスが可能です。ぜひ取り組ませてください。また、家庭学習のためにタブレットの持ち帰りを希望される場合は学級担任までご連絡ください。